

ケアレジデンス テイサービスセンターともベ リハビリテーション

理学療法士

関節や筋肉が硬くなっている
部位には関節を動かしたり、
ストレッチや筋肉をほぐすこと
で柔軟性をだします。
筋力低下がある場合は筋力
トレーニングを行います。



言語聴覚士

言語聴覚士のリハビリでは、「話す」「聞く」「読む」「書く」といった、コミュニケーション能力や、飲み込みに必要な嚥下機能、生活をしていくのに必要な高次脳機能等が、脳卒中や認知症または、高齢化によって生活に影響のある方、ひとりひとりにあったリハビリを行っています。

誤嚥予防

口腔体操や大きな声で音読をし、喉の力を鍛えています。
また、丸めたティッシュをひとつふきで飛ばし、むせ込んだ時にしっかり吐き出す力を鍛えることで誤嚥の予防に努めています。



騎乗課題に苦手意識がある方でも、折り紙や型はめ等、手指を使用した動作性の課題を使って、楽しく脳の活性化を行っています。



デイサービスセンターともへの取り組み

シナプロジー(1日3回)

シナプロジーとは!?

「視覚・聴覚・触覚などの五感への刺激」「脳の認知機能への刺激」を与え続け、楽しく身体を動かしながら、脳の機能を活性化させます。



脳トレ

ご本人のレベルに合わせた暗算やパズルを行っています。暗算は記憶力、同時に物事をこなす力が使われます。



メドマー

空気圧でマッサージ。リンパの流れや血液循環を良くします。浮腫み改善の効果。



エルゴメーター

筋力トレーニング



イージ・ウォーク

足首関節の動きを滑らかにしふくらはぎの筋肉が収縮し全身の血流促進。



リハビリだけでは不足する部分もあり、ご自宅での運動も大切になってきます。椅子に座って足踏みや膝伸ばし等、午前・午後10回ずつ継続して行ってみては？